

7月27日（金）、町民ふれあいプラザで、鎌田實先生（長野県茅野市諏訪中央病院名誉院長）の講演会が開催され、超満員の約480人が詰め掛けました。「安心して暮らせるまちづくり」あたたかな地域医療の実践」と題して、とてもやさしい語り口で、冗談を交えながら、わかりやすく講演されました。4億円の赤字をかかえた病院が、保健師と一緒に地域の健康づくりに入れた結果、多発していた脳卒中が減少し、地域の信頼を得て経営も安定し、病院ボランティア活動も活発になった事など素晴らしなお話や楽しいお話が続き、



あつという間に時間が過ぎました。

最後に、「この地域でも、ぜひ色々な職種が連携して『あたたかさの連鎖』が起きて、より安心して暮らせる地域となるように願っています。」と鎌田先生が語ったメッセージに観客の心が温かくなりました。



講演終了後、用意された93冊の著書は完売し、サインを求めの方々の行列ができました。鎌田先生は筆を使って、丁寧に1冊1冊にサインをして下さいました。



●講演会実行委員長 吉岡和晃先生からのメッセージ
今回は、住民と行政の協働で講演会を無事に開催することができました。ご協力を頂いた皆さまに、改めてお礼を申し上げます。どうも有難うございました。ぜひこれからも、住民と行政の協働で「安心して暮らせる地域づくり」を進めていきたいと思います。

編集後記
▼8月12日（日）から4日間、30℃以上の真夏日が続く、各海水浴場は、これまでに見たことも無いほどの車とテントと行楽客でぎっしりでした。表紙は、その時のふところ海水浴場の「コマです。この時ふところ海水浴場には、約2200人、二本杉海水浴場はその3倍くらい行楽客で賑っていました。▼9月1日は、「防災の日」ということで、今回は防災のポイントをまとめてみました。改めて日頃の備えと非常持ち出し品・非常備蓄品の準備をしっかりと行いたいと思います。また、離れて暮らす家族にとって「みんな無事です」の一言をどんなに待っていることか…。そこで災害時の連絡方法・災害用伝言ダイヤル「17171」についても掲載してみました。この「171」は、体験利用もできるようですので、実際にご家族の皆さんで練習しておいてはいかがでしょうか。▼消火器には使用有効期限があります。食べ物と同じように、すべてのモノは、時間とともに劣化し、消火器も例外ではありません。特に圧力容器である消火器は、設置環境や管理状態にも注意が必要となります。今一度、使用（有効）期限の確認と点検をおきたいと思っております。（乾）

